



各 位

2022年2月2日

会社名 日本酸素ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦
(コード番号 4091 東証第一部)
問合せ先 IR部長 梅原 崇禎
(TEL 03 - 5788 - 8512)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月10日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日 ~ 2022年3月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	865,000	96,000	96,500	60,000	58,200	134.49
今回修正予想(B)	932,000	101,000	101,000	69,000	67,000	154.82
増減額(B-A)	67,000	5,000	4,500	9,000	8,800	
増減率(%)	7.7	5.2	4.7	15.0	15.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	818,238	87,251	88,846	56,863	55,214	127.59

2. 修正の理由

日本、米国、欧州、アジア・オセアニア各地域のガス事業を合わせた売上収益は、当初計画を上回る見通しです。これは、世界経済の回復に伴う販売数量の増加、エネルギーコストの上昇に伴う販売価格上昇、および米ドル・ユーロ・豪ドルを中心とした円安での為替影響によるものです。これに伴い、コア営業利益及び営業利益も計画を上回る見通しです。一方、サーモス事業の売上収益及びセグメント利益は、計画を下回る見通しです。これは、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大により、日本及びアジア域内で、政府による非常事態宣言や感染拡大防止措置等が継続されていることによります。

その結果、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の増加や法人所得税及び支払利息の減少により、増益となる見込みです。

なお、期末配当については、2021年5月10日に公表した予想(1株当たり16円)から変更はありません。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によっては、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上